



国宝

日本が誇る「国宝・四大絵巻」に迫る

源氏物語絵巻の魅力

講師 徳川美術館学芸部部長代理 吉川 美穂

【開催日程】 2022年

3/25(金)

13:00~14:30

【受講料】 3,300 円(税込)

【持ち物】 筆記用具



上:国宝 源氏物語絵巻 柏木三 (部分)
下:国宝 源氏物語絵巻 竹河二 卷子装

国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』を絵画化した現存最古の物語絵巻で、平安の王朝文化を象徴する名画の一つとして有名です。『源氏物語』からどの場面が選ばれ、どのように絵画化されたのかを紐解きつつ、詞書の書風や料紙装飾、絵巻のたどった歴史、最新の科学的調査、修復の成果などを紹介して、その魅力に迫ります。

徳川美術館所蔵の国宝「源氏物語絵巻」は『源氏物語』を絵画化した現存最古の物語絵巻。もとは3巻の卷子装だったが、保存と公開の観点から昭和7年(1932)に額面装に改められた。当時としては最善の判断だったが、80余年を経て額面装による弊害が生じたため、平成28年(2016)から5年にわたる保存修復を行い、詞(ことば)と絵が響き合うよう本来の卷子装に戻した。令和2年(2020)に全15巻の修復が完成。



講師プロフィール 吉川美穂 (よしかわみほ)

愛知県一宮市生まれ。名古屋大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業

専門:日本近世絵画史。所属学会:美術史学会

担当展覧会:天璋院篤姫と皇女和宮(2017年 徳川美術館)、

尾張姫君ものがたり、国宝 源氏物語絵巻(2021年 徳川美術館)など

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。 ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。



登録料
不要



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎ 0120-53-8164

10:00~19:00(日曜日は17:00まで)

日本が誇る 「国宝・四大絵巻」に迫る

2/25 京都国立博物館研究員 井並林太郎
「鳥獣戯画」の謎に迫る

3/4 信貴山玉蔵院貫主 野澤密孝
「信貴山縁起絵巻」と毘沙門天信仰
寅年を迎えて

3/18 明治神宮ミュージアム館長 黒田泰三
伴大納言絵巻を読み解く

3/25 徳川美術館学芸部部長代理 吉川美穂
国宝 源氏物語絵巻の魅力

物語などを絵で書きあらわし、巻物の状態にした絵巻物。その中でも平安時代末期に描かれた「源氏物語絵巻」「伴大納言絵巻」「信貴山縁起絵巻」「鳥獣人物戯画」は日本の絵巻物の傑作です。いずれも国宝に指定され、美術的価値は言うまでもなく、当時の世相を映し出す貴重な歴史資料でもあります。各回それぞれの絵巻物に精通した専門家を招き、その魅力に迫ります。全4回講座(1回ごとの受講も可)



- 【受講日程】 特定金曜日 (2/25、3/4、18、25)
13:00~14:30 ※3/4は15:00~16:30
- 【受講料】 2ヵ月(4回)分 11,880円(税込)
各1回のみ 3,300円(税込・登録料不要)
- 【持ち物】 筆記用具